

南方地域の小中学校の校章・校歌

1 校章

| 校章 | 説明 (由来等) |
|--|--|
| <p data-bbox="199 347 384 383">南方小学校</p>  | <p data-bbox="544 342 1426 414">全体を円形にまとめたのは、平和と団結を表す。“みなみかた”の意味。</p> <p data-bbox="544 418 1426 600">「南」は、町当局の了承を受けて町章を使ったが、それに含まれる三角形の三頂点は、平面を決定する。即ち如何なる凹凸面にも安定し得るもので、如何なる困難な状況にも腰を据えて対処し、打開し発展していく東北人特有の粘り強さ、安定感を意味する。</p> <p data-bbox="544 604 1426 745">「小」の形は、鳥のはばたく姿をかたどり、当南小の子供らが、大空めがけて雄々しくはばたく鳥の如く社会に雄飛して、その持てる可能性を余すところなく発揮することを祈るものである。(昭和 43 年制定)</p> <p data-bbox="890 750 1406 786">〈南方小学校ホームページより〉</p> |
| <p data-bbox="199 795 384 831">西郷小学校</p>  | <p data-bbox="544 880 1426 1061">校木は「さくら」である。苗木を補植しながらシンボルとしてのさくらを大切にしている。そのさくらである花びらを型取り、西郷小の「西」をデザイン化したものである。〈学校要覧より〉</p> |
| <p data-bbox="199 1160 384 1196">東郷小学校</p>  | <p data-bbox="544 1232 874 1314">不詳 昭和 35 年 9 月制定。</p> <p data-bbox="555 1368 1417 1469">〔昭和 50 年代には、すでに校章の由来等が不明となっていたとみられる。〕</p> |
| <p data-bbox="199 1556 384 1592">南方中学校</p>  | <p data-bbox="544 1601 1426 1684">県花宮城の萩に南方の M を末広がりデザインしたもの。三つの M は学区内三小学校を表している。</p> <p data-bbox="544 1695 1426 1834">萩のように清楚でおごらず、誰からも愛され三地区からの生徒はお互いにふれ合いと協力で益々発展する南中を象徴している。〈『宮城の中学校四十年』より〉</p> |

2 校歌

| | |
|---|--|
| <p>南方小学校 校歌</p> <p style="text-align: right;">作詞 土井晩翠 作曲 田村虎藏</p> <p>1 宮城の県（あがた） 登米の里 南方なる 小学に 学びてあすに 備うるよ 一千余人 若き子等</p> <p>2 大嶽山と 迫川 山高くして 水深し 高きを上げ 若き子等 深きにとどけ 若き子等</p> <p>3 時を惜しみて 世のために 勉めてやまず 怠たらず 心と身とを 鍛えつつ 日に日に進め 若き子等</p> | <p>西郷小学校 校歌</p> <p style="text-align: right;">作詞 山本 正 作曲 海鋒義美</p> <p>1 わがまなびやは はるばると 南にひらけ 空すんで 白雲かける 山遠く ゆたかにみのる 稲の波 西郷の里 風かおる</p> <p>2 ならぶ桜の 木の下に つどいあかるく 手をとれば 伸びゆくいのち たくましく 文化をきづく 声高し われら西郷 小学生</p> <p>3 汗と力が みとなりし ちまちの耕土 ひろびろと 若いわれらの 夢をよぶ めぐまれし地を ふるさとに 西郷小学 栄あれ</p> |
| <p>東郷小学校 校歌</p> <p style="text-align: right;">作詞 渡辺波光 作曲 海鋒義美</p> <p>1 照る日かがやく 田に畑に 村に校舎に 清らかに 正しき心 たゆみなく ひとりひとりの 道行きて 村の土台となるわれら おお わが母校 東郷</p> <p>2 そよ風かおる 稲の穂に 庭のけやきにさくら木に つとめはげみて出る汗も のびるわれらの向上の 明日への力 わきたたす おお わが母校 東郷</p> <p>3 明けくれあおぐ大嶽の 森の緑の いつまでも 明るき心 持ち続け 学ぶゆくてに 幸福の 旗ははためく高らかに おお わが母校 東郷</p> | <p>南方中学校 校歌</p> <p style="text-align: right;">作詞 山本 正 作曲 海鋒義美</p> <p>1 北上の山脈雲紫に 乾坤凝りし暁の 清明の気を息吹けば 生氣あふるる南方 我が中学のあるところ</p> <p>2 東に北に南に展らけ 稔り豊けき大耕土 ゆかりも深き大嶽の 四季麗しくなごやかに 若き生命は育ちゆく</p> <p>3 遙かに西にみちのくやまの 山なみ遠く暮れゆけば 文化の光燦然と 若き我等の夢のせて 学ぶ行手にあかね雲</p> |